

嶺南地域公共交通網形成計画推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光		
事業主体	嶺南地域公共交通活性化協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	—								<input checked="" type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力)] 政策 [100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[嶺南地域公共交通網形成計画]						
[事業目的]													
北陸新幹線敦賀開業に向けて策定する嶺南地域公共交通網形成計画に基づき、小浜線の利活用促進、小浜線の魅力向上、バス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。													
[事業内容]													
嶺南地域公共交通活性化協議会の運営 計画に位置付けた事業の進捗確認や、評価・検証を行うため、県・嶺南6市町・交通事業者等で構成する協議会を運営する。													
[受益者] 嶺南地域住民、北陸新幹線敦賀開業で嶺南地域を訪れる観光客						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域における地域公共交通網形成計画策定にかかる調査事業 (実績) 嶺南地域公共交通網形成計画を策定					市町との連携状況	計画を推進する協議会の構成員に嶺南6市町が参加						
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							
嶺南地域公共交通網形成計画を策定						計画策定に伴い計画推進のための必要な協議会への負担金の額を精査							

嶺南地域公共交通網形成計画推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	嶺南地域公共交通活性化協議会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	45	22			23	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				45										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	小浜線、バス等の年間利用者数 (目標) 実績						計画では令和6年度末での成果指標を設定しており、年度ごとの成果指標の設定になじまない。							
活動指標	嶺南地域公共交通活性化協議会の開催回数 (目標) 実績			(2)										
他県の状況	JR線を軸として計画を策定している他県の例 富山県：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（平成29年3月策定） 京都府：JR山陰本線（園部～綾部）沿線地域交通網形成計画（平成29年3月策定）					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）						

新モビリティサービス推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光								
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [楽しみを広げる(創造力) 政 策 [100年に一度のまちづくり]]					関連する県の計画等													
<p>[事業目的]</p> <p>将来にわたって鉄道やバス等の地域公共交通を維持・確保するため、より利便性を高め、利用者を確保していく必要がある。そのため、地域公共交通の基盤整備に向けて、交通事業者や市町が行う新しい技術や手法の導入について支援するとともに、新たなモビリティサービスの導入について、交通事業者や市町等と情報共有することにより、地域住民や来県者等の利便性向上を図る。</p>																			
<p>[事業内容]</p> <p>①地域公共交通の充実に向けた基盤整備 ・公共交通情報のデータ整備 ・公共交通機関のキャッシュレス化の推進 ・県内におけるMaaSの導入検討</p> <p>②新モビリティサービス推進事業補助金 補助率 1/2 (補助上限2,000千円、広域連携事業は上限3,000千円) 対象者 市町、交通事業者等</p>																			
[受益者] 地域住民、北陸新幹線開業で県内を訪れる観光客						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		新たなモビリティサービスの導入を検討する検討会の構成員に各市町が参加											
[事業の評価]																			
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点													
・京福バスのGoogle検索対応や、永平寺町の志比北地区における自家用有償旅客運送の実験に対し、支援						・新たなモビリティサービスの導入に向け、交通事業者や市町等と情報共有するための検討会を設置													

新モビリティサービス推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	—											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	10,681	5,340			5,341	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移			10,000	10,681	・ 交通事業者や市町等と新たなモビリティサービスの導入を検討するために協議会を設置									
2月現計予算額の推移			10,000											
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	県内公共交通機関利用者数 (目標)	(11,315)	(11,366)	(11,591)			鉄道は連携計画記載の目標利用人数により、バスは人口減少率をもとに算出							
	実績	11,483												
活動指標	補助事業件数 (目標)		(5)	(5)			予算額10,000千円 / 1件あたりの上限2,000千円 = 5件							
	実績		6											
他県の状況	富山県 ・ 県内全域のバス情報のオープンデータ化と経路検索サイトへの情報提供を実施 ・ 県内全域のバスロケーションシステムの導入					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

公共交通空白地交通確保モデル事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力) 政策 [100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]							
[事業目的]														
公共交通等の空白地において、持続可能な交通手段を拡大するため、各地域の取組について地元大学とともに調査・検証を行う。														
[事業内容]														
<p>交通空白地における移動手段確保の取組みの他地域への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新モビリティサービス推進事業補助金の対象事業など、既存の交通機関の新たな活用策や、地域住民等が行う持続可能な移動手段確保の取組みについて、事業の立ち上げ、運行形態、住民満足度、収支採算性の調査・分析など事業の検証を行い、交通事業者や市町等に事業展開を図る。 														
[受益者] 地域住民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								

公共交通空白地交通確保モデル事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,845	1,442			1,403		地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				2,845										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						令和2年度は取組の調査・検証を実施するものであり、成果指標の設定になじまない							
活動指標	帖佐・検証する事業件数 (目標) 実績			(1)			地域での取組み（自家用有償旅客運送、貨客混載等）1件について調査・検証							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

自転車活用推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力)] 政策 [100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[福井県自転車活用推進計画]							
[事業目的]														
今後の福井県における自転車利用促進の指針となる「福井県自転車活用推進計画」(令和元年度策定)に記載の各種施策を実施する。														
[事業内容]														
①福井県自転車活用推進計画の周知 ・市町向け説明会の開催 ②福井県自転車活用推進会議の運営 ・計画に定めた各種施策の進捗に関するフォローアップ														
[受益者] 県民、来県者						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自転車利用促進事業 (実績) 「福井県自転車活用推進計画」の策定					市町との連携状況		・市町に対して計画内容の説明を実施し、市町が自転車活用推進計画を策定						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								

自転車活用推進事業

主要事業への記載		<input type="checkbox"/>	計上段階	令和元年度	30年度	29年度	要求書	7	頁			
区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営								経過年数	1 年		
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	465	232			233	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等]											(単位：千円)	
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移				465								
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績						計画では令和6年度末での成果指標を設定しており、年度ごとの成果指標の設定になじまない					
活動指標	市町向け説明会の開催 (目標) 実績			(2)			嶺北・嶺南 各1回開催					
他県の状況	○富山県 平成30年度に策定した計画に記載された施策の推進に関連する事業に対して、支援を実施 ・自転車を活用した健康づくりイベント ・サイクルツーリズムの促進イベント ・自転車安全教室 ・レンタルサイクル・シェアサイクルの利用促進事業 等					関連事業の有無・役割分担		■ 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H13 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R2 年度
事業実施方法	補助			経過年数					20 年			
補助率	①: 国1/2、県1/2	②③: 市町1/2、県1/2										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力)] 政策 [100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等			[福井県高速交通開通アクション・プログラム]				
[事業目的]												
地域住民の生活に必要不可欠な生活バス路線の運行を維持し、地域住民の福祉向上を図る。												
[事業内容]												
○生活バス路線維持のための補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 (国庫) ・ 広域生活バス路線維持対策事業補助 (県単: 複数市町運行系統) ・ 市町生活交通維持支援事業補助 (県単: 同一市町内運行系統) 												
[受益者] バス利用者 (通学者、通勤者、高齢者、来県者等)						[想定される受益者数] バス利用者約580万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 バス事業活性化対策推進事業 (実績) ノンステップバスの導入および廃止路線代替バスの運行費に対する補助のみであったが、バス利用者数の減少等により事業者の採算性の確保が困難となってきたことや、市町コミバスの導入が進んできたことから、広域路線の運行費については事業者に、同一市町町内路線の運行費については市町に補助を行っている。					市町との連携状況		各市町は、コミバスや乗合タクシーの運行および市町内の路線バスへの補助を行い地域の生活交通の確保に努めており、県は市町のこれらの取組に対し補助を行っている。				
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
人口減少や運転手不足の影響がある中、路線の効率化を図るべくダイヤ・ルート見直し等の再編を行った。また、生産性向上の取組みを行い、収支悪化の改善や利用者確保に努めた。						市町や交通事業者と共に、昨年度から開始した生産性向上の取組みについて協議し、引き続き赤字削減に向けて取り組む。人口減少や少子高齢化が進む中、地域にとって最適な公共交通ネットワークについて協議していく。						

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H13 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	補助													
補助率	①：国1/2、県1/2 ②③：市町1/2、県1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	496,143					496,143	地域間幹線系統確保維持費補助金、車両減価償却費等補助金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		489,099	488,510	496,143										
2月現計予算額の推移		489,099	488,510											
決算額の推移		487,665												
前年度までの 主な増減理由	広域生活バス路線維持対策事業補助路線の増加													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	バス利用者 (目標)	(5,993)	(5,956)	(5,881)			乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間利用者人員数 (単位：千人)							
	実績	5,835												
活動指標	補助対象バス実車走行キロ (目標)	(8,667)	(8,755)	(8,599)			乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間実車走行キロ数 (単位：千km)							
	実績	8,375												
他県の状況	(富山県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 ②生活路線運行費補助金(同一市町村内の路線でも補助対象となる以外、国庫補助と同じ規定) ③市町村運行バス路線対策費補助金(コミバス) ④NPO過疎地バス路線支援事業費補助金 (石川県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 ②県単運行費補助、車両購入費補助					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光		
事業主体		県、市町、交通事業者			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法		負担金											
補助率		—											
福井県長期ビジョン における位置付け		分 野	[楽しみを広げる(創造力)]		関連する県の計画等		[]						
		政 策	[100年に一度のまちづくり]										
<p>[事業目的]</p> <p>過度なクルマ利用を見直し、公共交通機関や自転車等への転換を促すカー・セーブ運動を「福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」が中心となり、社会全体で取り組む県民運動として推進する。</p>													
<p>[事業内容]</p> <p>○福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議運営 ・県民会議を中心として県内各地の関連イベントでの啓発活動等による県民へのカー・セーブ運動の周知・PRの実施、バイコロジー活動に対する支援。</p>													
[受益者] 県民（公共交通機関、自転車、自動車利用者）など						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ノーマイカー交通促進支援事業 (実績) ノーマイカーデーはH11年度から毎月1日、16日に実施していたが、H20年度から金曜日に公共交通機関や自転車利用、相乗りの実施等によりクルマの利用を控える「カー・セーブデー」に拡大。(H20年度は第2・4金曜日、H21年度以降は毎週金曜日)					市町との連携状況		県民会議の構成員である各市町において、街頭キャンペーンやチラシ・啓発グッズ配布、広報誌やCATVで広報活動を実施している。					
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							
クルマ依存の生活を見直してもらうため、電車・バス・自転車を組み合わせたカー・セーブ運動推進を実施。県内各地で「カー・セーブ運動」の普及啓発活動や広報活動等を実施した。						今後は北陸新幹線敦賀開業に向けて、県内の交通情勢の変化(バス路線の再編、電車のダイヤ変更、並行在来線等)を県民に広く周知する。 また、嶺南地域公共交通網形成計画に基づき、嶺南地域における地域住民や学生、事業所等に向けたモビリティ・マネジメント活動を実施する。							

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県、市町、交通事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,769				2,769									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		13,496	2,769	2,769										
2月現計予算額の推移		13,496	2,769											
決算額の推移		12,997												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	県内公共交通機関利用者数 (目標) 実績	(11,315) 11,483	(11,366)	(11,591)			鉄道は連携計画記載の目標利用人数により、バスは人口減少率をもとに算出							
活動指標	(目標) 実績													
他県の状況	(富山県) ①「富山県公共交通利用促進協議会」を設置し、ノーマイカー運動を実施し、チラシ作成・配布や広報活動を実施。(構成員：県、市町村、交通事業者、経済界および利用者) ②「乗りたくなる公共交通推進事業補助金」(公共交通の利用促進を目的とした、実際に公共交通を利用した企画を実施する経費に対して支援) (石川県) ①「生活バス利用促進対策費補助金」(バス事業者や市町、協議会等が取り組む先駆的・効果的な利用促進策に対して助成)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域公共交通網形成計画推進事業 (役割分担) 北陸新幹線敦賀開業に向けて策定した嶺南地域公共交通網形成計画に基づき、小浜線の利活用促進、小浜線の魅力向上、バス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。							

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光							
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度							
事業実施方法		直営、補助																	
補助率		1人あたり5千円、1団体上限10万円																	
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [楽しみを広げる(創造力)] 政策 [100年に一度のまちづくり]			関連する県の計画等		[]												
[事業目的]																			
小松空港と香港をはじめアジア各国を結ぶ国際線の定期路線開拓を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口拡大を図る。																			
[事業内容]																			
<p>県民による国際線利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種広報媒体を利用した県民向け利用促進プロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・電車中吊り広告、ラジオスポットCM、周知チラシ作成(旅行会社、市町等に配布) ○小松空港国際線誘致に向けた海外への職員派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・石川県とともに海外の政府機関や航空会社を訪問し、定期便誘致を協議 ○小松空港国際定期便を利用する場合の国際交流費助成(補助金) <ul style="list-style-type: none"> ・小松空港国際線を利用し、訪問先と国際交流事業を実施または福井県を訪問する団体受け入れ、国際交流事業を実施する福井県内の団体に対し助成 ・対象経費：国際交流事業の経費(交流会費、講師謝金、通訳費等) ・補助額：1人あたり5千円(1団体100千円上限) ・対象者：経済、文化、スポーツなどにより国際交流事業を実施する福井県内の団体(親善協会、スポーツ協会等) 																			
[受益者] 小松空港国際線の利用者など							[想定される受益者数] 約15千人(小松空港国際線を利用する福井県民・推計)												
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況												
[事業の評価]																			
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点													
<ul style="list-style-type: none"> ・電車中吊り広告(6~7月)、ラジオスポットCM(6~7月)、チラシの配布を実施 ・国際交流事業を実施する県内団体に対して助成 						<ul style="list-style-type: none"> ・国際線誘致や増便に向けた海外への職員派遣費用を追加 													

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1人あたり5千円、1団体上限10万円													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,142	1,071			1,071		地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		2,240	2,114	2,142										
2月現計予算額の推移		2,240	2,114											
決算額の推移		1,444												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	国際定期路線の開拓 (目標) 実績						国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。							
活動指標	県内団体への補助 (目標) 実績	(10) 4	(10) 3	(10)										
他県の状況	小松空港国際定期便利国際交流事業促進助成金（石川県） 対象者：小松空港発着の国際定期便により、韓国、中国または台湾を訪問したり、現地の団体を受け入れて国際交流事業を実施する石川県内の団体 対象経費：国際交流事業の経費（交流会費、講師謝金、通訳費等） 補助額：1人当たり5千円（1団体100千円上限）					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際線利用促進事業 （役割分担） 本事業においては、福井県民向けに特化した広報を行うほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。						

小松空港国際線利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R1 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[]					
[事業目的]												
福井・石川両県の行政や経済界等からなる小松空港国際線利用促進同盟会を通じ、上海便など小松空港国際線の利用促進を行う。												
[事業内容]												
○小松空港国際線利用促進同盟会負担金 (主な活動内容)												
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やラジオなどによる広報活動 ・両県でのショッピングセンターや主要駅におけるキャンペーン ・就航国との連携イベントにおける双方向でのPR ・就航国の現地取材による旅行記事の雑誌掲載 ・テレビでの旅行番組の放映によるPR ・チャーター便旅行商品に係る広報への支援 												
[受益者] 小松空港国際線の利用者など						[想定される受益者数] 約15千人(小松空港国際線を利用する福井県民・推計)						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
令和元年4月から10月にかけて香港便が運航された。令和元年10月からは上海便が週6便に増便された。 ソウル便、上海便、台北便、香港便を合わせた令和元年度9月末の国際線旅客数は124,877人(前年比110.7%)と前年度より増加している。						国際線の継続的な運航に向けた支援を行う。						

小松空港国際線利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R1 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,500				10,500							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		2,500	7,500	10,050	香港便（令和元年4月新規就航）や上海便（令和元年10月増便）など、国際路線の継続運航とデイリー化に向けた支援を行う。							
2月現計予算額の推移		2,500	7,500									
決算額の推移		2,500										
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	小松空港国際線利用人員 (目標) 実績	213					小松空港国際線定期便の年間利用人員（単位：千人）					
活動指標	(目標) 実績											
他県の状況	石川県負担金 10,000千円				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際定期路線開拓推進事業 (役割分担) 本事業による広報とは異なり、福井県民向けに特化した広報内容とするほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。					

北陸新幹線三駅周辺整備推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光				
事業主体	あわら市、越前市、敦賀市				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2以内														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力)]		政策 [100年に一度のまちづくり]		関連する県の計画等		[福井県高速交通開通アクション・プログラム]								
[事業目的]															
北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅周辺の整備をより一層加速させるため、新幹線駅所在市が主体的に進める駅周辺整備に対して補助を行う。															
[事業内容]															
補助対象事業	新幹線駅所在市が策定する駅周辺整備計画等に位置付けられる事業で、駅周辺の賑わい創出や乗換利便性確保に必要な施設として、知事が認めるもの														
補助対象市	あわら市、越前市、敦賀市														
補助率	市負担額の1/2以内														
事業実施期間	平成29年度～令和4年度（県内開業年度）														
補助限度額	1市あたり3億円														
[受益者] あわら市、越前市、敦賀市、駅利用者、観光客など						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況			駅周辺整備委員会、協議会等に委員またはオブザーバーとして参加 芦原温泉駅 芦原温泉駅周辺整備基本計画改定委員会 芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会 南越（仮称）駅 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会 越前市道の駅運営管理予定者選定委員会 南越駅周辺まちづくり計画策定委員会 敦賀駅 駅周辺整備構想策定委員会						
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
・ R1年度補助（234,751千円） あわら市 西口交通広場・西口賑わい空間 （38,472千円） 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場 （48,669千円） 敦賀市 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋 （147,610千円）						・ R2年度補助（146,850千円） あわら市 西口交通広場・西口賑わい空間 （26,850千円） 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場 （60,000千円） 敦賀市 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋 （60,000千円）									

北陸新幹線三駅周辺整備推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	あわら市、越前市、敦賀市				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2以内											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	146,850				146,850							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		87,388	234,751	146,850								
2月現計予算額の推移		49,107	204,886									
決算額の推移		49,107										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度補助(49,107千円) あわら市 西口広場(12,500千円) 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場(19,089千円) 敦賀市 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋(17,518千円) ・ R1年度補助(234,751千円) あわら市 西口交通広場、西口広場(38,472千円) 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場(48,669千円) 敦賀市 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋(147,610千円) 											
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績						新幹線駅の周辺整備を促進するため補助するものであり、成果指標の設定になじまない。					
活動指標	(目標) 実績						新幹線駅の周辺整備を促進するため補助するものであり、活動指標の設定になじまない。					
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

県都デザイン戦略推進支援事業（補助金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力)] 政策 [100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[県都デザイン戦略]					
[事業目的]												
県都デザイン戦略において、北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、実施することとした事業を推進することにより、都市の魅力を高め、次の世代に受け継ぐ県都のまちづくりを進める。												
[事業内容]												
<p>県都デザイン戦略に位置付けた、中期目標年次（北陸新幹線福井・敦賀開業）までに実施する福井市の事業に対して補助補助スキーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県都デザイン戦略を機に、新たに実施する事業（令和1年度～4年度までの4か年のうち、単年もしくは連続する4か年以内の期間） ・ 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）を活用して行う事業（その他の国、県の補助対象事業を除く） <p>補助対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 城址周辺道路整備事業（R1～R4） 												
[受益者] 福井市、観光客						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
R1年度補助（3,250千円） 測量設計、実施設計						R2年度補助（18,000千円） 消融雪設備工事、遊歩道整備工事						

県都デザイン戦略推進支援事業（補助金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2以内											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,000				18,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		0	3,250	18,000								
2月現計予算額の推移		0										
決算額の推移		0										
前年度までの 主な増減理由	R1年度補助額（3,250千円） 測量設計、実施設計											
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績						福井駅周辺の整備を促進するため補助するものであり、成果指標の設定になじまない。					
活動指標	(目標) 実績						福井駅周辺の整備を促進するため補助するものであり、活動指標の設定になじまない。					
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

県都デザイン戦略推進事業（まちなか歴史資源利活用事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営、委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [楽しみを広げる(創造力) 政 策 [100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[県都デザイン戦略]								
[事業目的]															
県が整備・復元を行った福井の歴史資源を活用し、県民や県外客が楽しみながら歴史を感じることができる仕組みづくりを行う。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井城址おもてなしブース設置 ・ 山里口御門・福の井を活用したイベントの開催（福井市中央公園と福井城址の一体的利用） ・ 山里口御門を活用した講座・ツアーの開催 ・ 山里口御門入館者属性調査 ・ 山里口御門リーフレット、福井城復元アプリチラシ印刷 ・ 由利公正広場の利活用 ・ 岡田啓介・松尾傳蔵像の維持管理 															
[受益者] 県都を訪れる観光客						[想定される受益者数] 186万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・ ふくい桜満喫フェスティバル（福井市）に合わせイベントを開催							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井城址おもてなしブース設置 ・ 山里口御門・福の井を活用したイベントの開催（春・秋） ・ 山里口御門リーフレット、福井城復元アプリチラシ印刷 ・ 由利公正広場鯉のぼり掲揚、七夕飾り 						・ イベント委託料について必要額を精査し、観光客の属性を調査する経費を計上									

県都デザイン戦略推進事業（まちなか歴史資源利活用事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託										
補助率	-										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,678	2,839			2,839	地方創生交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点						
当初予算額の推移				5,678							
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
前年度までの 主な増減理由											
[成果指標等の推移]											
区 分		30年度	令和元年度	2年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	山里口御門入場者数 (目標) 実績			(50,000)							
活動指標	イベントの参加人数 (目標) 実績	(500) 1,547	(1,000) 5,397	(7,000)	利活用イベントを2日間実施 (H31春のイベント参加人数3,940人)						
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

福井城址活用検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [楽しみを広げる(創造力) 政 策 [100年に一度のまちづくり					関連する県の計画等		[県都デザイン戦略							
[事業目的]															
「県都デザイン戦略」に基づく福井城址の活用について、県民や有識者等の幅広い意見を集約するための場を設ける。北陸新幹線福井・敦賀開業やその後の中長期の新たな状況を想定し、福井城址の目指すべき姿と具体的な用途・機能の検討を実施する。															
[事業内容]															
○まちなか地区意見交換会の開催 ・ 県都のまちづくりの中心となるまちなか地区住民の福井城址活用に関する意見を聴取（1回。100名/回）															
○福井城址活用検討懇話会の開催 ・ まちづくりに関する様々な分野の専門家等から長期的な視点に立った具体的な提案等を受け、将来の福井城址の用途および機能を具体化（2回。委員12名）															
○福井城址活用ワークショップの開催 ・ 県民目線の意見を集めるために、現地視察を含むワークショップを開催し、福井城址のより具体的な将来像を検討（2回。15名/回）															
[受益者] 福井市、福井市まちなか地区住民						[想定される受益者数] 30千人（福井市まちなか地区住民）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		県・市合同のプロジェクトチームを設置し、福井城址のあり方を 含む県都のまちづくりについて議論を開始							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

福井城址活用検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,027					1,027								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分			30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点								
当初予算額の推移					1,027									
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	福井城址活用検討懇話会の開催				(2)									
活動指標	まちなか地区意見交換会、福井城址活用ワークショップ参加人数				(130)			まちなか地区意見交換会 1回(100人)、福井城址活用ワークショップ 2回(15人)						
他県の状況	○長崎県 平成21年2月 県、市による県庁舎跡地活用プロジェクト会議の設置 8月 有識者、地元関係者からなる「長崎県県庁舎跡地活用懇話会」の設置 平成22年1月 懇話会による跡地活用の基本理念に関する提言 平成24年7月 「長崎県県庁舎跡地活用検討懇話会」の設置 平成26年4月 懇話会による跡地の用途・機能に関する提言 平成30年1月 県庁舎移転 令和元年～ 跡地活用の基本構想、基本設計					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						